

授業科目名	保健医療倫理学(2300205)		
時間割名	保健医療倫理学(32202)		
時間割担当	中川晶		
実施期	後期	単位数	1 必修
曜日・時限	水・2		

授業の目標・概要

現代の生命科学はこれまでに考えられなかった倫理的な問題を惹起してきている。また、保健医療現場の日常においても様々な倫理的問題が埋もれている。これらの問題に対して、保健医療の専門家の立場だけではもはや答えることが難しくなっている。これらの問題は専門家の中だけで議論されるのではなく、一般市民の間で深く検討されなければならない。本講義においては現在直面している生命科学や保健医療における倫理的諸問題が取り上げられ、倫理的意思決定を含め、様々な立場からの論考が進められる。また、グループワークやディベートなどを通して、自分で考え、問題を批判的にとらえる習慣をつくとともに、柔軟な思考力や豊かな感受性を培う。

講義 8時間、演習 7時間

学習の到達目標

1. 現代の生命倫理学（バイオエシックス）の基本的前提を教科書やワークによって適切に理解できるようになること。
2. 臨床における様々な倫理的配慮が必要な状況に対して、生命倫理学の基本的前提を基盤にした自分の見解を述べるようになること。
3. 他の医療専門職と生命倫理に関する問題について、看護の立場から議論することができるようになること。

授業方法・形式

基本的には講義形式で授業を進めるが、適宜、デジタル教材等を活用した授業もおりませで行う。また、毎回、授業内容に関する小課題の提出を求める。具体的な症例を提示して議論を行う。

授業計画

- 第1回 保健医療倫理学や生命倫理学について、なぜ看護学生が学ぶ必要があるのかについて概説する。
- 第2回 様々な臨床状況において倫理的配慮が必要になる事例について概説する。
- 第3回 臨床的トリアージとは何か、危機的状況における意思決定の指針について概説する
- 第4回 臓器移植における倫理的諸問題とは何か。それらの問題を議論することを学ぶ。
- 第5回 臓器移植に伴う諸問題のディベート、グループディスカッション
- 第6回 脳死における倫理的諸問題とは何か。それらの問題を議論することを学ぶ。
- 第7回 脳死に伴う諸問題のディベート、グループディスカッション
- 第8回 出生前診断・生殖医療にともなう諸問題、それらの問題を議論することを学ぶ。

成績評価の基準

定期試験50%、小課題30%、授業への取組（積極的発表、発言など）20%

授業時間外の課題

毎回の授業の終了時に、授業内容に関する小課題及び次回の授業内容に関する小課題を課し、自己学習（復習・予習）を促す。小課題は次回授業開始時に提出する（一部、自主的な発表を求める）。

メッセージ

本学部が目指す全人的ケアに主眼をおいた保健医療倫理学の基本的な考え方などについて、しっかり学び、その後の主体的な学習に役立ててください。

教材・教科書

特定のテキストは使用せず、授業内容に関する資料等を配布する。

参考書

参考図書、参考文献等については適宜、情報を提供する。